

# 豊城中学校の ESD 活動

## <活動の概要>

- ・校区の「ひと・もの・こと」と関わりながら、探究的・総合的・協働的に課題を解決し、持続可能な社会の実現や自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。
- ・具体的には、プロジェクト～継 (KEI) ～を柱に、①伝統文化継承に係る活動、②地域貢献に係る活動を行った。

## ・活動の実際

### ① プロジェクト～継 (KEI) ～ 伝統文化継承活動

生徒たちは、校区の3つの伝統文化について学び、体験したり、ボランティア活動に取り組んだりしている。

#### 1. チーム祇園 (3年生の学び)

出前講座では、祇園祭の歴史等について学び、総合的な学習の時間には、祇園祭を盛り上げるための提案をまとめた。本年度も、祇園祭の会場周辺でのごみ袋配付ボランティアを行い、生徒たちはいきいきと活動した。栈敷席で祇園花火を見る機会をいただき、地域の伝統的な行事のよさを体験した。

#### 2. チーム鬼 (2年生の学び)

郷土玩具である張り子のお面作りを夏休みに実施した (希望者)。自分たちの手で実際に鬼のお面を作ることで、伝統文化を身近に感じる機会になった。出前講座では、鬼祭保存会・奉賛会から講師を招き、鬼祭の歴史や由来など、興味深い話を聞いた。また、たんきり飴の袋詰めボランティアや、学年全員で紙垂づくり体験も行っている。これらの貴重な活動を通して、鬼祭が郷土を代表する伝統的な祭りであることを誇りに思う生徒が増えた。

#### 3. チーム文楽 (1年生の学び)

本校区には市指定無形文化財「飽海人形浄瑠璃吉田文楽」がある。17年前から、総合的な学習の時間に保存会の方々を招き、人形浄瑠璃の仕組みや動かし方、歴史などについて学ぶ会を継続している。また、音楽の授業に人形浄瑠璃に関する題材を取り入れ、その学びを深めている。

### ② 地域貢献活動

#### 1. 豊川クリーン作戦

隣接する豊橋公園のボランティア清掃から始まった自主清掃活動が、平成30年度より、全校生徒が参加する活動になった。豊橋公園だけでなく、学校の隣を走る国道沿いの歩道や、1級河川豊川に隣接する豊川遊歩道の清掃を行うことで、環境保全への意識を高めることをねらいとしている。自分たちが生活している地域を美しくする活動を通して、環境を整備することの大切さを実感する機会になっている。

#### 2. 勤労体験学習への協力と地域とのつながり

家庭から出る資源を回収する勤労体験学習を行っている。生徒たちは、自分たちの暮らす地区を回り、段ボールや雑誌、新聞紙、空き缶などを地域の方と協力しながら集める。活動を通して、家庭にある資源を無駄にしない意識を高めるだけでなく、地域の方との交流の場になった。集まった資源から得た収益は、生徒の活動や校内の整備に有効活用している。地域の方々と生徒、教師と一緒に汗を流して働くこの活動は、生徒たちにとって社会貢献を学ぶ大切な時間となっている。



2025

活動の様子